



ウレタン厚塗用弾性床材 Urethane floor material

パールフロアー

ビルや各種建造物・施設の生活空間の中で、最も触れ合いの多い床。それだけに床は壁や天井などの他の部位と比較して要求される性能が多く、また、各性能の要求値が大きいことが特色であるといわれています。
《パールフロアー》はポリウレタン樹脂のもつ優れた特性と素材にマッチした施工法によって、これまでの各種床材には見られなかったシームレスでソフトな弾性フロア創りに成功したウレタン系塗床材です。
床材に対して要求される必要十分な機能性はもちろん、色数豊富な色調によって発揮される意匠性もそなえているため、近代建築はもちろん、学校、病院、リハビリテーション、各種工場施設等広範囲に応用され期待されています。



弾力性
遮音・吸音性

歩くひとが疲れにくい、踏み心地 よい歩行感。

踏み心地のよい床材の条件のひとつは弾力性のある適度な硬さ。「パールフロアー」はウレタン樹脂特有のゴム状弾性に富み、ソフトな歩行感覚が楽しめます。歩行頻度の激しいスポーツ屋内体育館床、屋外の競技用床などでの緩衝効果をつくる特別仕様は他の追随を許しません。学校の教室・廊下・体育館床、病院、図書館、マンションのビジネスフロア、廊下、ロビーなど防音性の面でも効果的です。



シームレス
耐水性

接合部がない一体仕上げ、防水性・耐水・耐薬品性。

塗床材「パールフロアー」は、どんな形状の床も継ぎ目なしの一体で仕上げられるところから、防水性が高く、継ぎ目からくるほこりや汚れにくい実利的な特性を発揮します。ほこりやごみをきらう精密電子・機器工場の床をはじめ、研究室、病院の処置室など薬品に侵されやすい場所にも高度の耐久性を示し、同時に水拭きや洗浄も手軽に行え、維持管理費も軽微ですみます。



演出性(色)

厳選された色と仕上げ方法、床に表情をもたせます。

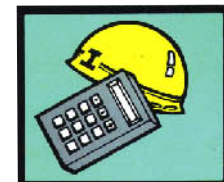
「パールフロアー」の色調は、厳選された基本色6色。さらにノンスリップ及びエンボス仕上げがその生活空間にふさわしい意匠効果を実現します。床はそこの生活が健康で安全で快適に行えるように、その機能性と同時に見た目に美しさが要求されます。デザイン性の高さがとくに要求される美術館、ホテル、マンション、美容院、ブティック、クラブハウスなどのスペースづくりに、インテリア効果の高いイメージを創造します。



耐摩耗性

磨耗しない強さ、耐衝撃性、ノンスリップ性も抜群。

靴底に使用されているぐらいその耐摩耗性はウレタン樹脂の大きな特性のひとつ。「パールフロアー」による床表面は、塩ビタイル、アスタイル、モルタル床などの10~15倍の磨耗強さがあります。出入りのはげしいビルエントランス、スーパーマーケット、車輛床など強度と平滑度、さらに耐衝撃性、ノンスリップ性が要求される場所にぴったりです。丈夫で力強い床材の出現です。



コスト

作業性が優れている。施工期が短く、施工も容易。

「パールフロアー」の施工には、モルタル金ごて押えによるできるだけ平坦平滑な下地拵えが条件となります。主材料・副資材とも十分に作業性を考えて調整されています。また下地との親和性がよいため施工が容易です。

パールフロアーの色見本

この見本は印刷ですので、実際と異なる場合があります。ご希望の実物見本をご請求下さい。



パールフロアー PF-2200

ウレタン厚塗用弾性床材

用途

学校施設(教室・廊下・階段)ひさし付の屋外通路・工場・一般ビル・マンションの床廊下・階段

特長

PF-2200による床仕上げ仕様は、パールフロアーの基本仕様で一般床づくりを対象にしたものです。

歩行感がよい、歩行時の発音性が少ない、疲れにくいなど実際の生活上の床機能の他に、耐摩耗性、耐水性、掃除・保守管理の容易さ、意匠性などを総合的に満足させる最も経済的な仕様です。

ノンスリップ材質を高めるために層の表面に特殊配合の樹脂を吹付け仕上げする仕様もあります。

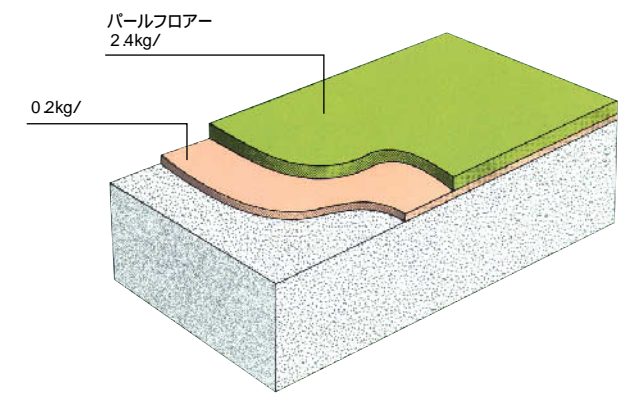
病院や老人ホーム、リハビリテーション、幼稚園等の床は、歩行者の安全のためにノンスリップ機能が特に要求されます。

PF-2200の仕様

仕様	塗厚	工程	1		2	
			プライマー	パールフロアー	プライマー	パールフロアー
PF-2200	2mm	下地調整	402 503 0.2kg/	2.4kg/	402 503 0.2kg/	2.4kg/

プライマー402は下地が比較的密な場合、プライマー503は比較的の下地が粗く吸込みのある場合、下地の状況によって、プライマーは2度塗りの場合もあります

PF-2200の施工断面図



パールフロアー PF-2300

ウレタン厚塗用弾性床材

用途

病院・リハビリテーション・幼稚園に最適

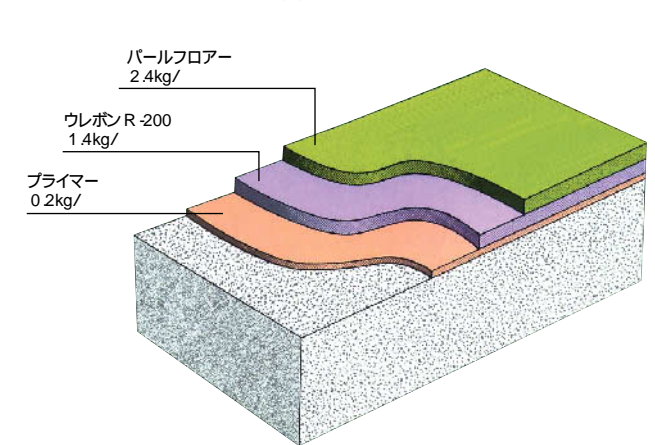
特長

PF-2300は、とくにソフトな歩行感と見た目にも落ち着きのある色調、すべりの危険性がない、疲れにくい、歩行時の発音性がないなどの優れた機能性を発揮します。

ノンスリップ材質を高めるために層の表面に特殊配合の樹脂を吹付け仕上げする仕様もあります。

病院や老人ホーム、リハビリテーション、幼稚園等の床は、歩行者の安全のためにノンスリップ機能が特に要求されます。

PF-2300の施工断面図



PF-2300の仕様

仕様	塗厚	工程	1		2		3	
			プライマー	ウレボンR-200	ウレボンR-200	パールフロアー	ウレボンR-200	パールフロアー
PF-2300	3mm	下地調整	402 503 0.2kg/	1.4kg/	1.4kg/	2.4kg/	1.4kg/	2.4kg/

プライマー402は下地が比較的密な場合、プライマー503は比較的の下地が粗く吸込みのある場合、下地の状況によって、プライマーは2度塗りの場合もあります

パールフローア PF-2500

ウレタン厚塗用弾性床材

用途
老人ホーム・養護施設、室内体育館床

特長
PF-2500は、床の塗り厚を5mm厚に仕上げ最高の歩行感と万一転んでもケガをしない床機能を持っています。
耐摩耗性、反発弾性、非発音性、安全性が特に要求される室内体育館床に最適な仕様です。

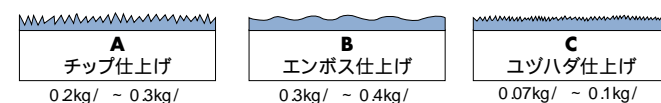
ノンスリップ材質を高めるために層の表面に特殊配合の樹脂を吹付け仕上げする仕様もあります。
病院や老人ホーム、リハビリテーション、幼稚園等の床は、歩行者の安全のためにノンスリップ機能が特に要求されます。

PF-2500の仕様

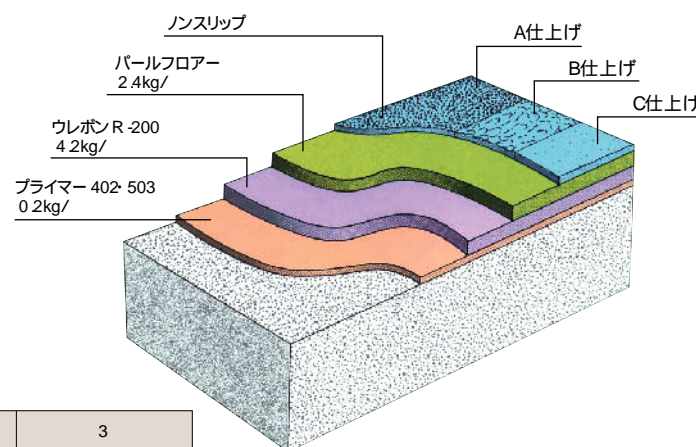
仕様	工程	1	2	3
PF-2500	塗厚			
	5mm	下地調整	プライマー402 # 503 0.2kg/	ウレボンR200 4.2kg/

プライマー402は下地が比較的密な場合、プライマー503は比較的に下地が粗く吸込みのある場合。
下地の状況によって、プライマーは2度塗りの場合もあります

ノンスリップ仕上げ方法



PF-2500の施工断面図



プライマー

試験内容	402	503	EP浸透	EW
外観	淡黄色	淡黄色	無色透明	淡黄色
用途	コンクリート・モルタル	コンクリート・モルタル	コンクリート・モルタルの強化	特殊下地
比重	0.93±0.02	0.95	0.91	0.98±0.02
固形分	25±1	30	20±2	28±2
粘度(mPa·s)	7.5	12	6.5	120±10
指触乾燥	20分	20分	5分	20分
成分	ウレタン	ウレタン	エポキシ樹脂	アクリルエポキシ
配合比	一液	一液	1:1(重量比)	8:1(重量比)

トップコート

試験内容	トップコートG・F	トップコート514	エンボス
外観	着色液体	淡黄色	着色粘糊体
比重	1.10±0.05	0.95±0.05	1.13
固形分	48.5±3.0	40±2	100
粘度(mPa·s)20	700	60~100	グリス状
指触乾燥 20	30分	25分	
硬化時間 20	4h	8.5h	24h
成分	アクリルウレタン	ウレタン	ウレタン
配合比	3:1(重量比)	一液	2:3(重量比)

ノンスリップ仕上げ工法 Non-slipping currier method

A仕様 チップ仕上げ

ウレボン514と着色トナー又はトップコートGに、エストップを所定の割合で混合し、吹付ガンで均一に吹付ける。

材料	容量	配合比
ウレボン514	16kg	100
着色トナー	3kg	19
エストップ	0.6~1.0kg	7~10

材料	容量	配合比
トップコートG A	6kg	100
トップコートG B	2kg	33
エストップ	0.2~0.4kg	3.3~6.7

ガン口径 3~5mm
エストップ 20~60
ローラー仕上げの場合#20を使用する。

B仕様 エンボス仕上げ

エンボス主剤と硬化剤を所定の割合で混合し、充分に攪拌して、コテ、ゴムベラ、等で塗り拡げ、表面をマッシュローラー等でエンボス攪拌を造り上げる。

材料	容量	配合比
エンボス主剤	2kg	100
エンボス硬化剤	3kg	150

ウレタン床剤施工後3日以上空いた場合はプライマーを使用して下さい。

C仕様 ユズハダ仕上げ

ウレボン514に着色したトナーを添加しA仕様に準じて吹付ける。この際霧吹状になるよう、塗布量、コンプレッサー圧力等并注意する。

材料	容量	配合比
ウレボン514	16kg	100
着色トナー	3kg	19



ヴェリーコートP (歩行用防水層保護タイプ)

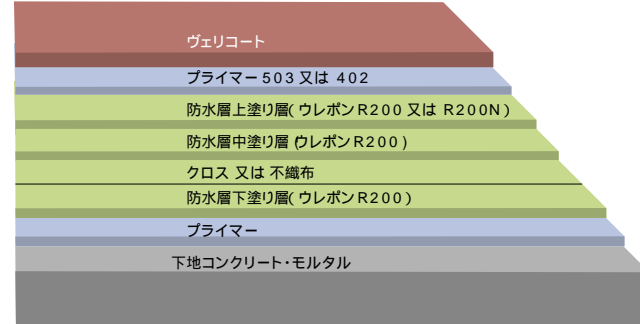
防水層兼用各種コート、スポーツ施設、遊技物等

屋上防水工事では露出工法は歩行が出来ない為利用上の制約があり、何かと不便でした。ヴェリーコートP工法ではその欠点を補い完全歩行が可能となり各種運動施設や遊技物としての利用が出来るようになりました。

≫特長

- ・防水層を多目的に活用できる。
- ・透水性があり、水溜まりが出来ず、降雨後すぐに使用出来る。
- ・断熱性があり、階下の温度を下げる。
- ・吸音性があり階下に音が響かない。

≫施工図



≫標準使用量 (ヴェリーコートVC-100P)

工程	種別	使用量(kg /)	厚み(m / m)
プライマー	402・503	0.2	3
防水層上塗り	R200・R200N	0.5	
クロス貼り粘着材			
中塗り	R200・R200N	1.7	3
上塗り	R200・R200N	2.0	
プライマー	402・503		
ヴェリーコート	ヴェリーコート	10	10

≫適用下地

- ・モルタル・コンクリート・合板・各種防水層

≫性状 (ウレボンR200)

試験項目	企画値	試験方法
外観	各色粘稠体	目視
粘度	9000±3000	mPa・s
比重	1.4	20

≫基本物性 (ウレボンR200)

項目	測定値(23)
引張強さ(N/mm ²)	5.0±1
引裂強さ(N/mm)	21.0±2
伸び(%)	650±50

(JBA6021)



ヴェリーコートシリーズ・パールフロアーシリーズ

施工上の注意

床は床構造、床下地、床仕上げの各材料が一体となって床を構成している以上、各々の材料が他材料と協調性がなくてはなりません。ウレタン塗床材ヴェリーコート及びパールフロアーは、施工完了後に商品の価値が発揮されるため、その施工においては材料特性とともに施工順序、施工方法を十分に理解しておく必要があります。

下地の条件

≫1.モルタル・コンクリート下地の場合

- イ.コンクリートは打設後4週以上、モルタルは2週以上の養生をとって下さい。(20)
- ロ.十分に乾燥させて下さい。(ケット水分計、含水率 8%以下)
- ハ.十分に強度が出ている事。
- ニ.水勾配がとれている事。(透水性下地を除く)
- ホ.平滑で凹凸のない事。

≫2.アスファルト下地の場合

- イ.打設直後で油分の多い場合、中性洗剤で脱脂して下さい。
- ロ.下地の転圧が不十分で強度がない場合、再度転圧し十分な強度を出して下さい。

≫3.鋼板下地の場合

- イ.サビ、油等汚れがない事。

≫4.木下地の場合

- イ.ジョイント部は、隙間のないよう、又段差のないようしっかり固定して下さい。

下地の処理

≫1.モルタル・コンクリート下地の場合

- イ.下地のレイタンスやぜい弱部分は、ポリッシャーや研磨機等で除去し、健全な下地を出して下さい。
- ロ.モルタルの浮きは削孔しエポキシ注入剤を注入する。又、大きい場合は、ハツリ取ってモルタルで修正する。(この場合、打経用の接着剤を使用する。)
- ハ.クラックが大きい場合(1m /m以上)Vカットしてウレタンシーリングでシールする。

≫2.鋼板下地の場合

- イ.サビ、油、汚れを除去した後、直ちに専用プライマーを塗布する。

≫3.木下地の場合

- イ.ジョイント部の隙間はウレタンシーリングでシールし、段差はウレタンパテ処理する。

使用材料

ヴェリーコート	淡黄色液体	10 kg
ゴムチップ	黒・各色	20 kg
助剤	茶かっ色液体	16 kg
パールフロアー	各色	10 kgx 10 kg /セット
ウレボンR200・R200N	黒・グリーン・グレー	6 kgx 12 kg /セット
ウレボン 514	クリアー	16 kg缶入
着色トナー	各色	3 kg缶入
エストップ# 20 - # 80	ウレタン発泡粉末	12 kg袋入
トップコートG	各色	6 kgx 2 kg /セット
ウレボンR200・R200N 立上り用	黒・グリーン・グレー	7 kgx 14 kg /セット
ウレボンメッシュ 又は サンキープV		100m巻
エンボス	各色	2 kgx 3 kg /セット

助剤は低温時、硬化促進剤として使用する。

標準仕様

≫1.プライマー

下地	適用プライマー	塗布量(kg /m ²)	指触乾燥
モルタル	プライマー-503	0.2	2h
コンクリート	又は 402	"	"
コンパネ		"	"
アスファルト	AFプライマー	"	"
鋼板	ウォッシュプライマー	0.15	"

ローラー、刷毛又はスプレーで均一に塗布する。下地が粗面(ポーラス)で吸収が激しい場合は、1回目のプライマーが指触乾燥後、再度塗布して下さい。

≫2.調合

- イ.ヴェリーコート
主剤とゴムチップを所定の割合でモルタルミキサーを使用し混合する。着色仕上げの場合はトナーを主剤に添加する。
- ロ.ウレボンR200・R200N、立上り用
主剤と硬化剤の上部を開缶し、硬化剤を攪拌機で良く攪拌する。次に、主剤を硬化剤の中に混入し、両者が均一になるまで良く混合攪拌する。攪拌時間は、2分～3分
- ハ.パールフロアー
主剤と硬化剤の上部を開缶し、別に用意した容器に主剤と硬化剤を混入し、両者が均一になるまで良く混合攪拌する。攪拌時間は、2分～3分

≫3.施工

- イ.2で調合したヴェリーコートを定木等を用いて、厚みを確保する。最初に木ゴテ又は、トンボ等で均一にならし次に熱ゴテや熱ローラー等で転圧し平滑に仕上げる。熱機具の温度は60 ~ 70 が良い。
- ロ.2で調合したウレボンR200、パールフロアー等をコテ、ゴムベラで均一に仕上げる。

≫4.トップコート仕上げ

- トップコートG又はウレボン514とトナーを所定の割合で混合しローラー、刷毛又は吹付けガンで均一に仕上げる。
(塗布量 0.2 kg /m²)